

会報

# つちおと

第144号

平成30年12月

明治・大正・昭和期の

建設工事写真シリーズ

東海道 三ヶ野橋 鉄筋橋脚架設工事

写真引用:磐田の記録写真集

撮影:昭和2年(1927年)



## 東海道は日本の東西を結ぶ重要な陸路

大化の改新により全国各地に国府が定められると、都と諸国を結ぶ街道が整備された。当地方では磐田に国府が定められ、以来当方は交通の要衝として栄えてきた。

現在は県道413号線の太田川に架かる橋として、平成28年に橋脚の耐震補強工事が完了し、東海道の物流を支えている。



現在の三ヶ野橋(平成30年10月撮影)



つちおとの表紙を飾る写真

◆テーマ・題材◆静岡県内の明治・大正・昭和期の建設工事関連写真

住所、氏名、電話番号、撮影年月日、撮影場所、写真の簡単な説明を記入したメモを必ず添えて、表紙裏面に記載の住所あてに郵送。あるいは協会までご持参ください。写真はつちおと掲載後に返却いたします。

ご応募いただく際お預かりする個人情報は、掲載させていただいた方への図書カードの送付のために利用させていただきます。

大募集!

掲載の方には  
2,000円分の  
図書カード  
進呈!



FUKUROI BUILDER'S ASSOCIATION

(一社)袋井建設業協会



## 築地市場と豊洲市場の比較

	築地市場	豊洲市場
所在地	中央区築地5-2-1	江東区豊洲6-6-1
敷地面積	23万平方メートル	40万平方メートル
開場	1935年2月11日	2018年10月11日
水産物取扱量	38万5000トン(2017年)	61万6000トン(2023年度目標)
水産仲卸業者数	524業者(2018年10月1日現在)	大半は移転見通し
建物の特徴	外気の影響を受けやすい「開放型施設」	外気を遮断し、鮮度を維持する「低温管理が可能な閉鎖型施設」
マグロ競り見学	競り場に入って至近距離で見られる	競り場には入れず、ガラス張りの見学者コースから見下ろす

## 豊洲市場の特徴

豊洲市場は、50年先まで見据えた首都圏の基幹市場として、築地市場が果たしてきた豊富で新鮮な生鮮食料品流通の円滑化と価格の安定という機能に加え、消費者の意識が高まっている食の安全・安心の確保、効率的な物流の実現など、産地や顧客・消費者の様々なニーズにも対応していきます。

さらに、環境に配慮した先進的な市場とともに、築地市場の築いてきた歴史と伝統を継承・発展させていくことで、豊洲市場の魅力=ブランド力を高めていくことを目指しています。

**豊洲市場は食の安全・安心や効率的な物流、環境対策などの新たな機能に加え、地域の活気やにぎわい創出にも寄与する魅力ある中核市場です。**

※東京都中央卸売市場 HP 文章より引用

**POINT** 食の安全・安心を確保します

温度を適切に管理できる閉鎖型施設になることで、商品を高温や雨風の影響から守り、鮮度を保つことが可能となります。



**POINT** さまざまなニーズに応えられる施設になります

食生活の変化に合わせて変わっていく消費者の皆さんのニーズや、産地・小売店・飲食店等のニーズにしっかりと対応できるよう、加工・仕分け・包装等ができる施設を設けます。



**POINT** 効率的な物流を実現します

売り場の近くに荷物を整理するスペースや駐車場を確保することで、車や荷物がスムーズに流れれる市場になります。



**POINT** 省エネや地域のにぎわいにも貢献します

太陽光発電等の自然エネルギーの活用、ヒートアイランド対策として屋上緑化を進めます。



**広報委員 M.K の雑感**

テレビで報道されているような、物々しい様子の築地市場と思っていたが、当日はそのような感じもなく落ち着いた様子でした。正門には、外国人が記念撮影などもしていました。正門から周囲はネットフェンスで囲ってあり、関係者以外が侵入できないように有刺鉄線が施されていたのが印象的でした。

東京旅行の定番で立ち寄ることが多い築地ですが、閉鎖前と比べ観光客が少ないように感じました。場外市場も歩きましたが、以前は人の多さが目立ち、歩くのも苦労した印象があります。お店の方からも「人が全然歩いていない」という声も漏れ聞きました。

「時代の流れ」という一言で言ってしまってはいけませんが、建設業に携わる私たちの目から見ますと、築地市場の建物(施設)の耐震性を含め不安な点は数多くあると思います。今回開場した、豊洲市場は建物(施設)の耐震性はもとより、温度を適切に管理できる閉鎖型施設ですので、食の安全・安心について築地市場よりさらにPRできるのではないかと思います。

東京オリンピックという一大イベントに向け、東京が変わっていきます。

# 東京の台所が移転

## 「築地」から「豊洲」へ

### 特集

平成30年10月11日に、東京の台所でもある「築地市場」が豊洲へ移転し、開場致しました。平成30年10月26日に広報委員会(松下進一広報委員長)は、現在の築地はどうなっているのか、新しく食の中心となる豊洲はどうなっているのかを確認し、皆さんに情報発信をしたく現地を視察しました。



### 築地市場について(歴史)

#### 江戸時代

江戸時代初期(1603年頃)、幕府を開いた徳川家康は、江戸城内の台所をまかうため大阪の佃村から漁師たちを呼び寄せ、江戸湾内の漁業の特権を与えました。漁師たちは魚を幕府に納め、残りを日本橋で売るようになったのです。それが魚河岸の始まりといわれています。

江戸時代の魚市場では「問屋」と呼ばれる商人が店を構え、魚の仕入先である生産地と結び付き独自の流通組織を作り発展しました。

#### 明治時代



明治の時代、市場は新政府のもと近代化へ歩みはじめました。問屋や仲買人は組合を作つてまとまり、当時の魚市場は千住、新場、日本橋、芝金杉の4ヶ所に統合、整備されました。しかし都市の人口が増えるとともに、取扱量や業者の数が増えて取引が乱れ、その上、不衛生な状況にとかく人々の非難を浴びました。そこで公設の中央卸売市場を望む声が高まってきたのです。

#### 大正時代

大正12年3月、流通の歴史を塗りかえる「中央卸売市場法」が制定されました。市場は東京が指導、運営し、衛生的で公正な取引による価格と品質の安定を目指したのです。

市場法にもとづいて東京が中央卸売市場の計画を進めていた矢先の大正12年9月、関東大震災が東京を直撃、未曾有の災害はすべてを焼きつくし、長い歴史を誇った日本橋魚河岸はその幕を閉じました。

#### 昭和時代

昭和10年2月、築地に広さ約23万平方メートルの東京都中央卸売市場が開設されました。市場へ集まる生鮮食料品は貨物列車と船で運ばれてきました。貨物列車を収容するために、扇状の建物が建てられ、市場は、市民生活を支える大きな力となつたのです。

昭和16年12月、太平洋戦争が始まり、食料品は配給統制となり、戦後も食料品の統制は続き、市場本来の役割を果たせませんでしたが統制が解除された昭和25年以降は、市場の働きが回復し、人々の食生活も安定の方向に向かいました。



#### 平成時代

東京都中央卸売市場は首都圏の食生活をまかう生鮮食料品などの流通の大拠点に発展しました。中でも築地市場は日本最大の市場になり、平成17年実績で、一日平均3,350トンの魚や野菜などが入荷し、およそ21億円が取引されていました。

魚河岸の名で親しまれた東京都中央卸売市場築地市場。

東京都中央区にある日本橋のたもとには魚市場発祥の記念碑が建っています。この碑文には今の日本橋室町一帯は「ことごとく鮮魚の市倉なり」とあり、漁場から新鮮な魚を運び、日夜市を立ててにぎわう魚河岸はこの辺りにあったと伝えています。

昭和10年の開設以来、80年以上の長きにわたり巨大都市東京の食生活を支え続け平成30年10月6日に閉場しました。



ネットフェンス(有刺鉄線あり)



旧築地市場正門



築地 場外市場

※一般社団法人 豊洲市場協会 HP 文章より引用

つちおと



# 三社権現 三熊野神社

中東遠の  
神社を訪れる  
2  
NEW  
シリーズ

## 御由緒と御神徳

※本文はホームページより引用しております

文武天皇の皇后紀州熊野大社へ「安産にて皇子誕生せば、東に二うのお社を建てまつり、日夜敬い申し上げる」と神前に誓われ、無事御安産あらせられ、そのお誓いにより大宝元年（七〇一年）熊野三社即ち熊野本宮大社を当横須賀の地に、熊野那智大社を小笠山（現小笠神社）、熊野速玉大社即ち新宮を高松（現高松神社）の地に遷座された宮にて、御鎮座と共に朝廷より神領として笠原の庄を賜つて居ります。

建武二年（一二三五年）元旦には新田義貞（にったよしだ）公が戦勝祈願のために参拝され補木正成（くすのきまさしげ）公の鈴を奉納。さらに中世戦乱の受難時代を経て、天正六年（一五七八年）徳川家康公により当地に横須賀城築城後は歴代城主家臣並びに城下近郷挙げて信仰を寄せ呼び、以來現在に至る迄厚い信仰を集め、災難除、子授け、安産、縁結びの守神として、神々の恵み深い御神徳のあるお宮として尊崇されて居ります。

大祭は毎年四月第一土曜日曜に、地固めの舞・田遊びの舞の奉納、神輿の渡御、山車（称里）十三台の供奉が行われ、中祭では、十月八日、九日に神楽の奉納が行われます。

第二回は、掛川市西大渕にある「三熊野神社」を紹介します。桜も咲き誇る四月第一土曜日・日曜日に、遠州地方の祭りのトップを飾る遠州横須賀三熊野神社大祭が盛大に行われている神社です。

## 地固め舞

木太刀や弓矢などの七つ道具を使い、七人の若者が踊りに合わせて舞踊り、大地の悪靈を祓い清める儀式です。子授けの神事と並び、祭り本来の中核を成す神事で、かなり古くから

くからの伝統行事で、世襲によって行われています。



## 神子抱き神事（子授け神事）

「おねんねこま」と申します

上げ古記によれば、文武天皇の皇后御祈願成就・皇子（後の聖武天皇）御出産の靈験顯たかなお宮にて、古来より子授けの神として広く伝えられて居ります。四月の大祭二日目に、御神前及び渡御行列に供奉し、神輿お旅所の折、神子抱き祈願すれば子宝を授かると、近隣は勿論、東京、大阪、神戸等、各方面より多数の参拝をいただいて居ります。



遠州横須賀三熊野神社大祭 ■写真提供:掛川市

## 三社祭礼囃子

大祭で神輿に供奉する山車（称里）のお囃子が即ち三社祭礼囃子であります。このお囃子は享保二十六年（一七三五年）の始め横須賀十四代城主

西尾隱岐守忠尚（にしおひきのさみただな）おおきのかみただな（お）公が、幕府筆頭老中として江戸に在勤中、家臣が當時江戸で風靡していた江戸囃子に新手を加え、囃子に新手を習い、御家人囃子を習い、当地横須賀に広めたのが始まりとされています。昭和三十年に指定され、静岡県無形民俗文化財第1号に指定されています。

## 田遊びの舞

木太刀や弓矢などの七つ道具を使い、農事の

無事を祈ります。長久元年の年号の入った鍔などもある、古くからの伝統行事で、世襲によつて行われています。

大祭の舞の奉納、神輿の渡御、山車（称里）十三台の供奉が行われ、中祭では、十月八日、九日に神楽の奉納が行われます。

つちおと

# ステーション 建設STATION

## 袋井市立周南中学校特別教室棟



廊下



外廊下

### 【施設説明】

袋井市立周南中学校では、学区内の宅地開発や土地区画整理事業による人口増加に伴い、概ね10年先まで生徒が増える見通しに至ったため、老朽化していた木工・金工室棟を、これまでの木工・金工室に加え理科室を配置する特別教室棟として建て替えるとともに、既存校舎の理科室を普通教室に改修することで普通教室数を増やしました。

この新たな特別教室棟につきましては、従来に見られるモナードを基調とした学校施設と比べ、建物の内外部にアクセントカラーを採用したこと、全体的に明るい校舎としています。

また、1階の木工・金工室につきましては、生徒の授業に対する発想力、想像力が高まることが期待し、天井の鉄骨梁、配管などを露出させることで、工房の様な雰囲気を醸し出しています。



木工室



金工室



理科室



会議室

工事概要	
工事名称:	平成29年度 周南中学校校舎増築工事
工事場所:	静岡県袋井市下山梨地内
発注者:	袋井市長 原田 英之
工期:	平成29年6月29日～平成30年3月16日
構造:	鉄骨造 3階
建築面積:	483.63m <sup>2</sup> 延床面積:1204.70m <sup>2</sup>
諸室:	木工室、金工室、理科室3室、会議室 等

工事区分	監理者・施工者
基本・実施設計	株エコア総合設計 袋井市山名町
工事監理	// //
建築工事	塙本建設(株) 袋井市小山
電気設備工事	株大王 袋井市徳光
機械設備工事	(有)鈴武設備工業所 袋井市春岡





# 安全の道しるべ



## 平成30年度 安全研修会

平成30年8月8日(水) 76名参加 於:袋井建設業会館2階大会議室



袋井建設業協会中村勝利副会長挨拶

磐田労働基準監督署 古鎌治徹安全衛生課長

静岡県中遠農林事務所 森住佳秀検査監

ミドリ安全浜松株式会社伊藤彰彦所長 安全衛生コンサルタント 鈴木敬司氏

## 官民合同パトロール

実施日 10月23日(火)  
参加者 10名

監督署1名・袋井土木3名  
安全指導員6名

実施箇所 2箇所  
掛川・小笠地区(土木2箇所)



実施日 10月24日(水)  
参加者 10名

監督署1名・中遠農林3名  
安全指導員6名

実施箇所 2箇所  
袋井森・小笠地区(農林2箇所)



【安衛則540条】通路

これ  
いい~ねっ!



段差ある作業床に対し、手摺付き  
階段通路が設置されていました。  
昇降時、不安なく通行できます。

【安衛則539条の6】  
ロープ高所作業の危険防止



傾斜地作業での滑落防止措置と  
して、親綱が設置されていました。  
安心して作業できますね!

すぐ  
なおす!!



【安衛則392条の1】仮囲い

発電機充電部にて感電の危険が  
あるので仮囲いが必要です。



【安衛則151条の11】逸走防止  
駐車時に逸走防止のための歯止めを用いることが必要です。

## 第55回 全国建設業労働災害防止大会

9月20日(木)～21日(金) 於:パシフィコ横浜(横浜市)



大会  
スローガン

危険の芽 摘みとる目をもちリスクゼロ みんなで高める職場の安全

9月20日、パシフィコ横浜に於いて、第55回全国建設業労働災害防止大会が開催され、全国から4,000余名が参加。当会からは、鈴木会長はじめ全関係者17名が参加しました。

2日目は専門部会が開催され、部会毎の発表が行われました。

本部会長表彰受賞者

【功労賞】

(株)尾崎工務店 尾崎康司

## 第45回 静岡県建設業労働災害防止大会

10月12日(金) 於:静岡労政会館6階ホール(静岡市)



10月12日(金)、第45回静岡県建設業労働災害防止大会に284名が参加し、開催されました。袋井分会関係参加者15名。

支部長表彰受賞者

【事業場賞】(株)松下組  
【功労賞】中山建設(株) 中山勝義  
【功績賞】(株)松下組 山本佳和  
正光建設(株) 竹下敏雄

安全標語・けんせつ川柳入選作品

【優秀賞】丸明建設(株) 塩川将吾  
「上司より消えたら困る このデータ」  
【佳作】正光建設(株) 鈴木俊輔

建設業年末年始労働災害防止強調月間  
平成30年12月1日～平成31年1月15日

「無事故の歳末 明るい正月」